※年代決定の方法※

- (1) 遺跡の地層の上下から…「～よりも～のほうが古い」(相対年代)
- (2) 科学的分析方法で…「約～年前」「西暦～年」(絶対年代) ※誤差が大きい
 - <例> ¹放射性炭素(¹⁴C)測定法…半減期(動植物の死後約5700年)を利用
 - ²年輪年代法…木材の年輪の幅が気候の変化に対応することを利用
 - フィッシュントラック法、花粉分析、プラントオパール分析、黒曜石水和層測定法など

縄文文化の成立 ³完新世=約⁴1万数千年前以降

【自然環境の変化】気候の⁵温暖化

- ⁶海水面の上昇(⁷縄文海進)→日本列島の形成・漁撈^{ぎょうろう}の活発化
- ⁸針葉樹林から⁹落葉広葉樹林(ブナ・ナラなど)や¹⁰照葉樹林(シイなど)へ
- ¹¹大型動物が絶滅→中小動物 <例> ニホンシカ・イノシシ・ウサギ

【技術の進歩】自然環境の変化に対応

- 1) ¹²弓矢の発明、落とし穴の使用
- 2) ¹³磨製石器の発明 ※¹⁴打製石器も併用
 - (例)・石斧…¹⁵磨製石斧は木材伐採
 - ¹⁶丸木舟や住居の製作
 - ¹⁷打製石斧は石鋏(原始農耕?)
 - ・¹⁸石鏃…弓矢のやじり ・¹⁹石匙…獣の皮を剥ぐ
 - ・²⁰石錘…漁撈用の網のおもり ・²¹石皿と²²すり石…木の実のすりつぶし
- 3) ²³骨角器の発達…材質は主にシカの角 →釣針・銚^{もり}・縫針など
- 4) ²⁴縄文土器の発明…煮る、貯蔵することが可能に→食糧の量・質の向上
 - 600～800℃の低温で焼く→黒褐色、厚手でもろい
 - ²⁵草創期→早期→前期→中期→後期→晩期 ※最古は13,000年前?
 - 種類 深鉢形土器(全期間)、尖底土器(早期)、火炎土器(中期)、注口土器(後期)、²⁶亀ヶ岡式土器(晩期：²⁷亀ヶ岡遺跡[青森])など

高度で安定した ²⁸狩猟採集 →²⁹農耕をともわない新石器文化(北ユーラシア型)

※エジプトやメソポタミアなど、世界の大半の地域では新石器(磨製石器)の使用と農耕の開始は同時期
ただし、一部では農耕も行われていた…「³⁰縄文農耕」

<例>³¹尖石遺跡[長野]などでの焼畑農耕

各地でクリ林の管理・増殖、ヤマイモなどの保護・管理

³²板付遺跡[福岡]や³⁴菜畑遺跡[佐賀]では縄文晩期に水稻耕作が始まる

縄文時代の生活と社会

住居 ³⁵ **竪穴** **住居**…地面を掘り込んで作る ³⁶ **掘立柱** 内部に³⁷貯蔵穴 1戸に数人

集落…基本は4～6戸 水辺に近い ³⁸ **台地上**

中央の広場を囲んで環状(円形)または馬蹄状(U字形)

☆³⁹ **貝塚**…ゴミ捨て場(兼 埋葬場) 主に貝殻 当時の ⁴⁰ **海岸線の復元**が可能

石器・土器・骨角器・獣骨・人骨・食物など残存

社会 ⁴¹ **狩猟採集**経済 →自然状況に左右 →集団作業

⁴² **貧富の差はない**(統率者は存在)←住居規模ほぼ同じ、共同埋葬、副葬品なし

風俗 ⁴³ **呪術的風習**

〈例〉⁴⁴ **屈葬**…手足を折り曲げて埋葬 死者の復活を防ぐ?

⁴⁵ **抜歯**…前歯の一部をぬく 成人のための儀式?

⁴⁶ **研歯**…前歯をフォーク状にけずる 統率者の印?

⁴⁷ **土偶**、⁴⁸ **石棒**(棒状)、土面、土版など

…土製の人形 女性像が多い 遮光器土偶・ハート形土偶など

⁴⁹ **アニミズム** (⁵⁰ **精霊崇拝**、⁵¹ **自然崇拝**)…あらゆる自然物・自然現象に靈威を認める

交易 重要な物資についてはかなり遠方とも交易

〈例〉⁵² **黒曜石**…黒色の火成岩 石器の材料 主な産地は、⁵³ **和田峠**[長野]など

⁵⁴ **サヌカイト** (讃岐石)…黒色の火成岩 石器の材料 ⁵⁵ **二上山**[大阪]など

⁵⁶ **ひすい**(硬玉)…緑色の鉱石 ^{まがたま} 勾玉の材料 産地は糸魚川・姫川[新潟]

主な遺跡

⁵⁷ **大森** **貝塚** [東京]…後期 アメリカ人⁵⁸ **モース**が初めて調査 日本考古学発祥の地

⁵⁹ **夏島貝塚** [神奈川]…早期 日本最古級の土器

⁶⁰ **鳥浜貝塚**[福井]…縄文草創期～前期 糞石・丸木船など多数の出土品

⁶¹ **加曽利** **貝塚**[千葉]…中～後期 国内最大の貝塚

⁶² **津雲貝塚**[岡山]…後～晩期 174体の人骨が出土。

⁶³ **三内丸山** **遺跡** [青森]…1994年発見 中期の大集落跡(数百人規模)

正誤問題練習 〈大学入試センター1999B本試験、1997年B追試験より〉

- (1) 縄文時代になると、気候が温暖化し、海面が上昇したため、漁撈活動がさかんとなった。
- (2) 縄文時代には、土器・磨製石器・弓矢など道具の進歩により定住化も進み、台地上の竪穴住居で構成された集落の周辺には、ごみ捨て場もみられた。